

自己改革

～経過報告vol.1～

JA自己改革に対する組合員調査にご協力をお願いします!

現在、JA鹿本が取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いしてより一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興やくらしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、全ての組合員の皆さまを対象としたアンケート調査を実施しております。

新規担い手育成・支援 地域担い手育成センターの今



▲地域担い手育成センター

管内の担い手と成り得る農業経営者を育成・支援のため、今年度より新規就農支援施設である「地域担い手育成センター」を設立、第一期生を受け入れ、座学と圃場実習の研修を行っています。今年度受け入れは5名。圃場実習ではスイカ、ナス、トマトを栽培・収穫し、出荷を行いました。

第一期生の研修は6月まで行われ、卒業後は管内に就農します。第二期生の募集も開始しており、7月から第二期生の研修が始まります。



▲実習の様子

労働力支援 外国人技能実習生の受け入れ

農業者の労働力支援のため、外国人技能実習生を2016年9月から本格的な受け入れを開始しました。現在、18名を受け入れています。技能実習生は3年間農家の下で農業技術を学びます。2019年2月に新たな受け入れも決定しており、今後も続けて行きます。

現在
18名
受け入れて
います。



▲外国人技能実習生

	技能実習生数
第一期生(2016年9月)	6人
第二期生(2017年1月)	3人
第三期生(2017年10月)	5人
第四期生(2018年1月)	4人
第五期生(2019年2月)	7人(予定)

食べておいしい米作り 特A受賞までの道のり

県内でも有数の米産地であるJA鹿本では、良食味・高品質米産地を目指し「これぞ!一番米コンクール」を実施しています。JA協同乾燥施設等で集荷した米は外観による等級格付けを行いますが、同コンクールでは一次審査で米の成分分析を行い、最終審査で試食による審査が行われます。これにより、「食べておいしい米作り」への意識づけに繋がっています。審査内容(成分分析の結果)は生産者へ通知されるため、更なる高品質生産へつながっています。

コンクールを始めて2年目の2017年産米は(財)日本穀物検定協会「食味ランキング」で「森のくまさん」が見事特Aを受賞しました。



▲これぞ!一番米コンクール

JA鹿本は各事業を通じ、
創造的自己改革の実現に向けて取り組みます! 次月号に続く▶▶▶